

臨時理事会開催

アンピの在り方検討について

本年度第1回（6月）の理事会において、当協会の厳しい財政状況を踏まえ、協会の再建策を検討すべきとの方向で意見が集約され、県に対して公益法人としての在り方や具体的な支援策の検討を行うよう要望が出されていました。

これを受けて県は、関係部署を中心にこれまで検討を行ってききましたが、12月16日開催した臨時理事会において、県国際課から検討状況の中間報告が行われました。

協会の財政は、県の外郭団体見直しにより、県の支援が廃止されたことや、経済情勢の悪化による財産運用収入の減少により、23年度以降の協会の運営に重大な支障が生じる状況になっています。職員体制についても、近年外国籍県民への支援施策が協会業務としてもウエートを増している中で、県民の要望に応え、地域の国際交流団体の中核として望まれる役割を果たしていくには体制強化が不可欠の状況になっています。

理事会において県側から、当協会は、国際交流に関する唯一の県的団体であり、民間主導の体制を維持しつつ存続させていくべきとの基本的な考え方が示され、協会に位置づけられる事業の共通的事務の見直し等により効率的運営を図っていくこと、県的団体として拠点機能を強化し、民間団体やボランティア団体とのネットワークを構築していくこと、協会の設立経過を踏まえて、協会存続のために何らかの支援を検討していくこと等が提案されました。

協会としても、自主財源の確保に努めるとともに、県的組織としての使命を再認識し、今後の在り方を研究していくことが求められます。

理事会ではこの他、基本財産の運用及び役員交代について審議が行われ、提案どおり可決されました。



アンピの見直し等の推移

- 平成 元年 財団法人として発足
- 平成 2 年 自治大臣から、国際交流の都道府県における中核的組織「地域国際化協会」として認定される。
- 平成 13 年 暮らしのサポーター事務局併置
- 平成 15 年 サンタプロジェクト事務局併置
- 〃 県の外郭団体見直し開始（方針：段階的に支援廃止）
- 平成 17 年 県の人的関与、財政援助打ち切り

目次

- 臨時理事会開催 ①
- 進学ガイダンス・医療通訳講座開催 . . . ②
- 長野県国際課からのお知らせ ③
- 長野県多文化共生係からのお知らせ . . . ④
- JICAからのお知らせ ⑤
- 情報マップ ⑥

高校進学ガイダンス 2009開催

進学ガイダンスの開催は、平成21年度で6回目を迎えました。事前準備や当日の流れもおおむね確立し、支えてくださるボランティアの方々の温かい協力でも今年も開催することができました。今年度は、9月に長野市からスタートし、飯田市、上田市、松本市と毎週日曜日、4会場で計4回開催しました。各会場では、県高校教育課による説明、質疑応答、現役高校生による体験発表、言語別グループに分かれての話し合いなど3時間にわたり行われました。どの会場でも、質問、意見がとても多く、対象児童生徒・家族の進学への希望、受験への意欲の大きさが伝わってきました。しかし一方で当事者の参加人数が少ない点や、学校の先生たちの関心が今ひとつという点など検討する課題が多いのが現状です。これらをふまえて効果的な広報の仕方、開催地等の検討・改善をし、多くの生徒に高校進学の道が開け、希望が持てる会にしたいと思っています。

【平成21年度の実施状況】	参加者
9月 6日（日）長野会場 長野市もんぜんぶら座	30名
9月13日（日）飯田会場 飯田市松尾公民館	27名
9月27日（日）上田会場 上田市ふれあい福祉センター	44名
10月4日（日）松本市市民活動サポートセンター	43名



言語別グループの話し合いの様子

～参加者の感想～

- ・こういう機会を設定して頂きありがたかった。
- ・このガイダンスで自分に合った学校がわかりました。
- ・先輩の話を聞いて私もがんばりたいと思った。
- ・他の地域でも開いてほしい。

医療通訳養成講座開催

平成21年度ANP I Eのもうひとつの重点事業である、医療現場での言語支援のための「医療通訳養成講座」を開催しました。松本市会場で、基礎編1回（11月13日）とスキルアップ編4回（11月27日、12月4、15、19日）と全5回を終え、全ての講座に参加した受講者5名に修了証が交付されました。

受講者たちの年齢・国籍は様々、遠方からも通ってきて頂きました。日本語を母語としない外国籍県民が日本の医療施設を受診する場合、言葉の壁があるため医療通訳はなくてはならないものです。医療通訳は誤訳が直接命や医療過誤に関わることや、また患者のプライバシーに配慮が必要であること等の理由で、高い専門性が求められます。

講座は全て日本語で行なわれ、医療現場において第一線で活躍されている方々からのお話をお聞きしました。「医療通訳者の心得」や「病院の仕組み」、「日本の保険制度」、「外国籍患者の受け入れの実態」等、資料やパワーポイントを使って講座を行いました。参加者が医師役、患者役を演じて実場面を想定した通訳模擬訓練を行いました。

受講者の皆さんは、日本語の分からない患者さんの役に立ちたいという強い思いで受講されていました。



ロールプレイによる演習

【言語と受講者】

中国語	：	5名
ポルトガル語	：	10名
英語	：	5名
タイ語	：	1名

国際交流員から見た日本

長野県観光部国際課 国際交流員 段 秀珍（中国河北省出身）

「光陰矢の如し」、私の二年間の国際交流員としての仕事はまもなく終わります。初めての日本での生活は、毎日が驚きと興味に満ちあふれていました。

静かできれいな町並みや礼儀正しい人々、パチンコ屋さんの新装開店の花輪を見て、中国と同じように誰か亡くなったから置いてあるのだと勘違いしたこと、中国と同じ漢字を使っても、風俗や習慣、考え方がまったく異なっていることなど、すべてが新鮮でした。



私の国際交流員としての主な仕事は、行政通訳や翻訳、学校訪問、文化講座・国際理解交流イベントの企画と参加などです。その中で一番面白くて好きなのは学校訪問です。子供たちは中国の位置や国土の広さ、国旗、人口、民族及びオリンピック関係のことなど、中国のあらゆることに興味を持っていました。特に中国の子供たちの遊びやゲームなどに対しては、好奇心旺盛で私も驚くほどでした。他にも「中国人はどんな人ですか?」、「中国人の髪はどんな色ですか?」、「中国にはバナナや、キウイフルーツなど

果物がありますか?」など様々なことを聞かれました。私が1つずつ丁寧に答えると子供たちは真剣なまなざしで聞いてくれました。時々すばやくメモを取ったりもしていました。その真面目さと一所懸命さに、私は本当に感心しました。

日本人の礼儀正しさにも深く感心しました。職場の人々は毎朝、オフィスに「おはようございます」と挨拶して入ります。帰るときも「お先に失礼いたします」と挨拶をしてオフィスを出ます。また、前日に一緒に出張したり、イベントを開催した翌日には「昨日はお疲れ様でした、ありがとうございました」などの挨拶をするのが普通だと分かりました。そして、街や職場などで、知らない人とも挨拶をします。特にデパートやレストランなどサービス業の接遇は、言うまでもなく完璧です。例えば、自動車レンタカーの店員が、真夏の炎天下や雪が降っている時でも同じスーツ姿で、お客様の姿が見えなくなるまでお辞儀をしながら見送ります。



これらすべてが日本人の相手に対する思いやり、心遣いの現れだと思います。これはとても学ぶべきことだと思います。

今、私はJETプログラムという日本の国際化の事業の一員として日本と中国の文化交流の架け橋の役割を果たしていますが、中国に帰っても、この経験を活かし、引き続き日中文化交流の仕事をやっていきたいと思っています。

災害時語学サポーター育成研修会を開催しました。

中越沖地震などを契機として、災害時の情報伝達等において、通訳ボランティアの担う役割が増しているとの認識から、通訳のできる方を対象に災害時のいざという時に活動していただく「災害時語学サポーター」を育成するための研修会を、10月30日（金）に上田で、11月6日（金）に松本で開催しました。受講者は、講師から災害時の通訳の心構えやノウハウを教わった後に、ロールプレイで通訳の練習をしました。来年度も行う予定ですので、興味のある方は是非ご参加ください。

多文化共生支援員について。

長野県では、昨年8月から県内5つの地方事務所（上小、諏訪、上伊那、下伊那、松本）と人権・男女共同参画課（県庁）にポルトガル語と日本語の両方を話すことができる「多文化共生支援員」を設置し、失業しているブラジル人の方の再就職のための日本語指導を母国語教室（ブラジル人学校）で行っています。また、県機関での各種相談の通訳・翻訳を行っていますので、お気軽に多文化共生支援員に声をかけてください。

設 置 場 所 E-mail	多文化共生支援員名	T E L F A X
上小地方事務所 地域政策課 joshokenmin@pref.nagano.jp	田中 ジェラルド ケンジ	0268-25-7113 0268-25-7129
諏訪地方事務所 地域政策課 suwachi-seisaku@pref.nagano.jp	伊藤 シュリニョ 忠雄	0266-57-2902 0266-57-2904
上伊那地方事務所 地域政策課 kamichi-kenmin@pref.nagano.jp	コウ スザナ ヒフミ	0265-76-6803 0265-76-6804
下伊那地方事務所 地域政策課 shimochi-seisaku@pref.nagano.jp	堀江 エドアールド シゲミ	0265-53-0402 0265-53-0475
松本地方事務所 地域政策課 matsuchi-seisaku@pref.nagano.jp	加藤 エヴェリン	0263-40-1903 0263-47-7821
人権・男女共同参画課（県庁） jinken-danjo@pref.nagano.jp	小林 ローゼマリー 久代	026-235-7165 026-235-7389

外国籍県民向けに緊急情報を発信しています。

日本語が不自由な外国籍県民にも、災害や感染症などの緊急情報を提供するために、緊急情報が发出された際、携帯電話のメールアドレスを登録していただいている方に、多言語でその旨のメールを発信しています。

21年度は昨年12月末までに、インフルエンザ情報を9回発信しました。

今後もより多くの外国籍県民に緊急情報が伝わるように、登録者の拡大に努めていますので、お近くの外国籍県民に登録のお声がけをお願いします。

登録方法は、携帯電話から jinken-danjo-t@pref.nagano.jp へてに、タイトルを「登録」や「toroku」などと適宜入れて、送信していただくだけで登録できます。

長野県のホームページの URL とメールアドレスが変わります。

長野県では、平成22年3月1日から下記のとおり、ホームページの URL とメールアドレスを変更します。なお、平成23年3月31日までは、新旧両方の並行使用期間となり、平成23年4月1日より、新しい URL とメールアドレスに完全移行しますので、よろしくお願いいたします。

	変更前	変更後
ホームページ	www.pref.nagano.jp/	www.pref.nagano.lg.jp/
メールアドレス	所属名@pref.nagano.jp	所属名@pref.nagano.lg.jp

お問合せ先

長野県企画部人権・男女共同参画課多文化共生係

TEL 026-235-7165 FAX 026-235-7389

Email jinken-danjo@pref.nagano.jp

JICAからのお知らせ

～新・推進員、自己紹介～

みなさん、はじめまして！

○このたび新しく「JICA 国際協力推進員」に着任しました美谷島晶子（びやじま あきこ）と申します。右の写真、右側で艶然と笑っている国籍不明なのがワタクシ、隣はいかめしいお姑さんとマイベビーでございます・・

というのは冗談で、バングラデシュでの「お母さん」（大家さん）とその孫の赤ちゃんです。

○半年少し前までは、私も青年海外協力隊員として、バングラデシュという国に滞在していました。異国の服に身をつつみ、カレーを食べる右手は常にカレー色に染まり、サンダル履きの足はきれいにサンダル焼けをして、バングラ社会で負けじと声を張り上げていましたが・・・ ➡



アシュン!
(ベンガル語
で「おいで!」)



○今やすっかり落ち着いて、OL 風に(?) デスクに収まっております。しかししかし、国際協力への熱い思いははまだ胸に・・今度は私が、同じような夢をもつ or 興味がある方たちを、バックアップさせていただく側になりました！

○「推進員」は何を「推進」するのかというと・・たとえば、JICA ボランティアの広報・応募促進、地域や学校での国際理解のための出前講座、地域の組織・自治体の国際交流事業のサポート、などなど。

○なんだかわかったようなわからないような説明ですが・・要するに「世界を知って面白い！」こんな好奇心の種を、ここ長野県のあちこちでポッポッと育てていきたいのです。○これから先、どんな方たちとお会いできるのか、楽しみにしております。新米推進員を暖かく見守ってくださいませ！

連絡先：

(財) 長野県国際交流推進協会 (長野県庁東庁舎 1 階) 内

JICA デスク (担当：びやじま)

電話：026-235-7186 (代) FAX：026-235-4738

メール：jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp

シリーズ信州国際塾



～信州国際塾は広く一般の方を対象として、国際協力の理解を深めてもらうことを目的としたイベントです～

長野県を国際協力の場に

～アフガニスタンとつながる～

平成22年2月21日(日) 14:00～17:00

長野市生涯学習センター(トイゴ内) 第1学習室

入場無料 一般歓迎

アフガニスタンの国際援助で活躍している長野県関係者をお招きし、現地の様子を含め、多彩な活動を紹介していただきます。アフガニスタンとの絆を感じ、国際協力がもっと身近になるはずです！国際協力を漠然と興味のある方、何か始めてみたい方、お気軽にご参加ください。

講演：アフガニスタン JICA 研修員 シャムス医師

千曲国際交流協会 柴田文啓氏

JICA アフガニスタン専門家 ほか

申込・問合せ先：(*配布資料の準備の関係上、事前にご連絡をお願いしています)
(財)長野県国際交流推進協会内 JICA デスク 美谷島(びやじま)
Tel: 026-235-7186 Fax: 026-235-4738
E-mail: jicakjv@jica.go.jp

翻訳します

(財)長野県国際交流推進協会では、翻訳業務(有料)を行なっています。

翻訳：市町村・医療機関(県機関は除きます)、企業や個人様からの依頼を受付けています。

各種証明書、国際交流・多文化共生にかかわる簡易な手紙、メッセージ、案内文などで高度な専門的な内容は除きます。

※権利、訴訟等利害関係にかかわる書類の翻訳は受けられません。

賛助会員を募集しています

当協会では県民の幅広い参加のもとに国際交流事業を進めていくため賛助会員制度を設けております。長野県の国際交流の進展、多文化の共生にむけて、賛助会員としての参画をお願いします。

【年会費】・法人または団体 1口 10,000円 ・個人 1口 3,000円

【特典】・アンピニュースの送付 ・アンピ主催講座の割引 ・協会事業への参加案内など

【申し込み・問い合わせ】アンピ Tel: 026-235-7186 FAX: 026-235-4738

E-mail: mail@anpie.or.jp